

山都町（熊本県上益城郡山都町）

R3補正
R4当初

52

背景・課題

山都町は50年程前から有機農業に取り組み、有機JAS認証における有機農産物生産行程管理者が52事業者と全国の自治体で一番多く、近年は有機農業での新規就農を目指す移住者は増加している。しかし、高齢化や生産年齢人口の減少が移住者を上回るペースで進んでおり農業の担い手は不足、耕作放棄地は増加傾向。有機農業を推進することで約50年間守ってきた農地や美しい自然環境を次世代に繋いでいくことが求められている。

成果目標と達成状況

※最終的な達成状況は
令和10年度に評価

○有機JAS認証事業者数の増加

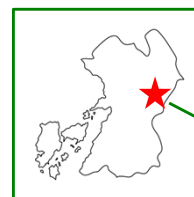
52事業者(R3)→52事業者(R4)→60事業者(R9)

○有機JAS認証面積の増加（いも類、露地野菜）

16.7ha(R3) → 22.7ha(R4) → 18.7ha(R9)

○有機JAS認証販売数量の増加（いも類、露地野菜）

94.9t(R3) → 110.8t(R4) → 105.4t(R9)



山都町

構成員

山都町、山都町有機農業協議会
（販売促進部会、学校給食部会、
Organic山都部会、ブランド米部
会、こども野菜塾部会）

品目

いも類、露地野菜、水稻

取組の成果

- ①生産：技術講習会、簡易土壌診断キット導入と分析データに基づく施肥設計体制構築、野菜の成分分析による野菜の特徴の見定め及び品質や味の均一化に向けた栽培体制の確立。
- ②流通：多くのバイヤーが注目する関東、関西の展示会、商談会への出展。
- ③消費：オーガニック学校給食が進んでいる自治体の情報収集、ホテルのシェフや栄養教諭と連携した有機野菜を使用した学校給食メニューの開発、「オーガニック給食週間」を設定し、開発メニューの児童への提供を通じた食育の推進。



新規就農者等対象の
栽培技術講習会

販路開拓に向けた
展示会への出展



有機野菜を使用した給食メニューの開発
及びオーガニック給食週間に提供

普及に向けた取組

引き続き有機農業者の技術向上、経営能力向上に向けた取組を推進。特に水稻においては、有機JAS認証農業者を増やすために、課題である除草技術の省力化を検討していく。併せて、有機JAS申請サポート、土壌分析、栽培技術の指導といった有機農業者サポート体制の整備を実施していく方針。さらに、町内外への販路拡大、「オーガニック給食」を通じた食育を推進。

問い合わせ先

山都町役場 農林振興課 TEL：0967-72-1136